

# カーレットライト

■ 収納用具 (図1)

● ストーン赤6個、青6個

● マット6枚

● シート(巻き板)1枚

大きさは長さ3m60cm、幅60cmです。机で行う場合、会議机、長さ180cm幅60cmであれば2台、幅が45cmは4台必要。

図1



## ■ 基本器材 (右図参照)

1 マット①～⑥を並べる

- 1.バックからストーン箱、マットを取り出します。
- 2.マットは6枚あります。
- 3.エプロンの左上部分に1～6の番号があります。
- 4.6から順に番号が左上に成るよう組んでいきます。

2 ハウス印刷フィルムを置く

- 5.ハウスフィルムの上の線と上下線をマット⑥の中心線、上下線に重ねて置きます。

※プレー中にフィルムがずれます。時々直してください。

3 シートをマットに敷く

- 6.巻き板に巻かれているシートを伸ばしマットに敷きます
- 7.マット①まで伸ばし、裏側に巻きこみます。その際、マット①の手前をやや起こしてシートを巻き込み起こした手前部分を下に押していくとシートが引っ張られピンと張ることができます。

※プレーしていくとシートが緩んでくるがありますが、その際上記と同様にシートを貼り直してください。

4 ストーンを並べる

- 8.ストーンをストーンボックスから出し、ふたに載せてマット①の左右に置きます。

※ローソクでストーンの底(3点がやや凸る部分)に3, 4回こすりつけると滑りが良くなります。少し経つと効かなくなり滑りが若干落ちます。その時又こすりつけてください。

これでプレー準備完了です。

6.かたづけ

- 9.まず初めにシートを巻き板に巻いていきます。シートが貼っている状態で巻かないと巻きづらいです。1, 2回巻くとマット②部分からはエプロンを利用して、シートが巻き板からはみ出ないようにします。シートはマット⑥に置きます

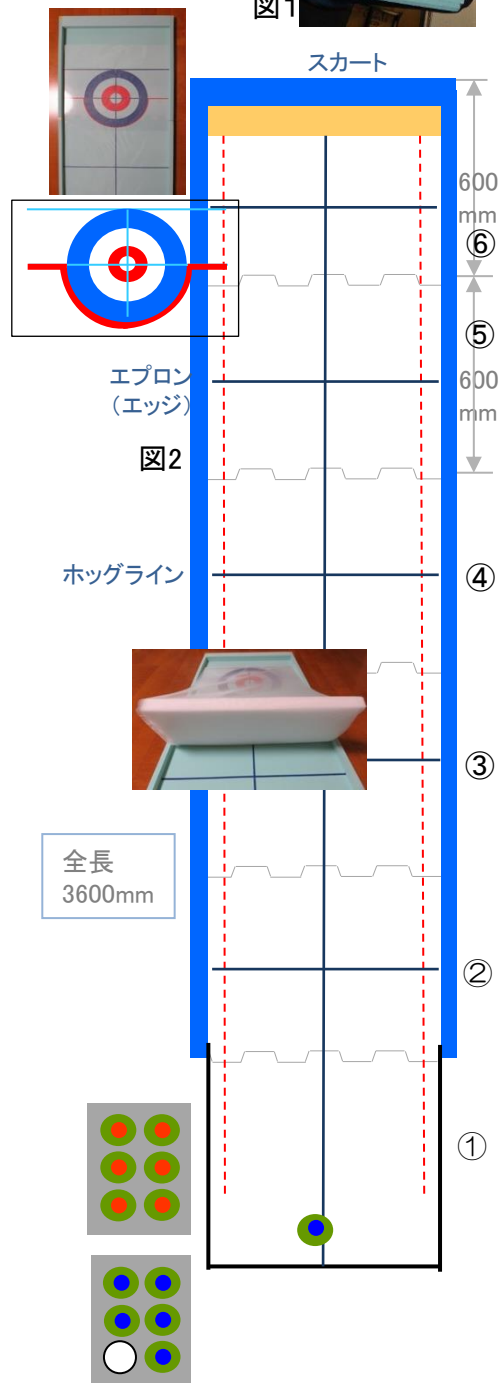
- 10.ハウスフィルムもマット⑥の上に置きます。

- 11.マットをはずします。マット重ね方ですが、エプロンがあるので、ずらして2枚づつ向かい合わせて重ねます。マット①はマット②の中に入れます。

6.バックに収納する

- 12.バックを深い部分を下にして置きます
- 13.バックを広げまずストーンをいれたボックスを底板についでいるバンドで底板に結び固定します。
- 14.6枚重ねたマットをストーンの上に入れます。

以上で収納完了です



# ルール要点

公式戦(3人対3人)で競技する場合のルールの要点を抜粋、説明します  
しかし参加者数、時間等で、公式にとらわれず行ってください

黄チーム 2点-0点 赤チーム

## ●競技方法

1人が2ヶのストーンを持ち、1チーム3人づつが対戦相手と交互に2投づつ投球、1エンド合計12投します。6人が投げ終わった後、ハウス中心に一番近いストーンของทีมが勝ち、相手より中心に近いストーンの数点数になります(図1)。負けた方は必ず0点です。8エンド行い合計点で勝敗を決めます。



図1

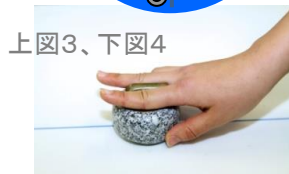
## ●滑らせる

姿勢  
左手  
右手

1、的に向かって真っすぐ立つ(座る)  
2、左手は台の上に置く(図2)  
3、右手は図3、図4の形です  
力の弱い方は特例(※注1)で手を横にし、手首を使いますが、方向性が悪くなります。試合前に指導員に必ず申し出、指導を受けてください。



上図3、下図4



モーション

4、図2、3の形から、狙う方向に真っすぐ、  
2、3回モーションし投げます

※注意1

お子様や、力の弱い方の横投げは大変危険なので十分注意してください。必要以上にスピードが出てしまい、ストーンが飛び出してしまふ恐れがあります。

## ●プレーゾーン

プレーゾーンは図5ハウス上部の青線(バックライン)からマット④の横中心線(ホッグライン)です。

## アウトストーン

ホッグラインまで届かない⑤とバックラインを越えた④ストーンはアウトとなります

※注意2

ラインに接触していればセーフとなります。真上から見ます。横からだ線ではなく、上から見ると線上です。アウトになったストーンはフロアから速やかに取り除きます

フリーガード  
ゾーンルール

1. これは最初の一投者(リード)の1投目と2投目だけに適用されるルールです。セカンド、スキップは適用外です

2. フリーガードゾーン内(右図ハウスの赤線とホッグライン)の相手ストーンを直接、間接に当てて出し、アウトにすると、当てたストーンがアウトになり、当てられた相手のストーンは元に戻ります。但し当てたストーンがハウス内に残ったのはセーフでそのまま続行します。又リードの投球がハウス内に残ればセーフですが、相手はこれを出すことができます

右図のストーンは当てられた相手のストーン位置です

①セーフ ②アウト ③セーフ ④アウト



スカート

図5

図7

フリーガードゾーンはこの線の中です斜線部分はアウトです

エプロン

ホッグライン

⑤

ストーンの  
転がり

投げたストーンが転がった場合はそのストーンはアウトになり速やかに取り除きます。当てられたストーンは元に戻ります

スカートからの  
跳ね返り

強く投げたストーンは、安全のために作られたスカート、セーフディッチで跳ね返って中に入ることがあります。跳ね返ったストーンはアウトでそのストーンに当たったストーンは元に戻ります

エプロンの利用

エプロンを利用しストーンを反射させる攻撃は、攻略法の広がり、高度なテクニックが身につくことになり、カーレットでは重要な要素になります。

※注意3

カーレットはフェア精神で競技します。判定は相互のチームで決めます  
どうしても判断がつかない場合は第三者、或いは指導員から助言を得てください

## 2、エアホッケー



図1

ゲームセンターなどにあるエアホッケーと全く同様の楽しさを味わえます

### 準備

- 1、マットの①、②、③をはずします。
- 2、⑥マットと同様の予備のマット⑦を④の箇所につなぎます。
- 3、シートをB箇所にある切り口からマットの下に通します。  
この際、シートが長いので少々面倒ですが、表面がピンと張るまでシートを送り込んでください。終わったらマットを伏せます
- 4、仕切り板(図1)をA、B箇所にはめます。  
図1を置くとパックが入る口が小さいです。難しい場合は図1をおかずにプレーしてください
- 5、四角い板が4枚ずつあります。溝の中に入れて並べます。図1の支えをします。
- 6、マットの長さが長いとその分難しくなります。基本は4枚のマットでプレーしますが、3枚にしたり、5枚にしたりして難度を調整して下さい。

### プレー

- 1、プレーする人はマットの横に立ちます
- 2、マレット(図2)をお互いが持ち、パック(図2)を撃ち合います。
- 3、相手の隙間(図1)に入れた方が勝ちです。
- 4、上述のように図1をはめると難しい場合は、図1と四角い4枚の板をとり、カーレットのストーンが落ちる溝に落ちたほうが負けになります。

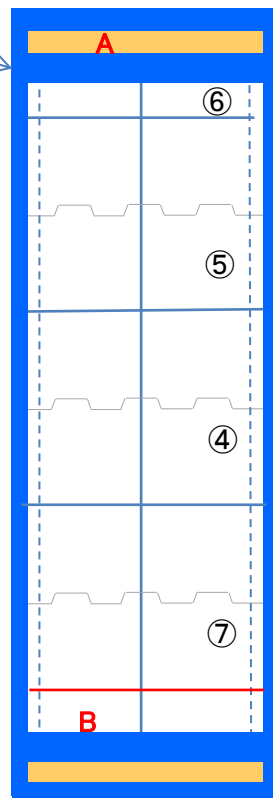


図2

### お願い

ストーンの取っ手が外れる時があります。その際は、臨時にセロテープを小さく切ってストーン3か所にテープを貼ってください(図3)。プレーが終了した後、多目的用の接着剤でストーンの方に接着液をグルっと1周するぐらいにつけ、取っ手を取り付けてください。10分程度後かたまります。お手数をおかけしますが、宜しくお願いいたします

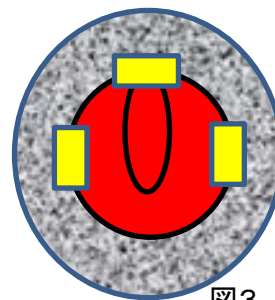


図3